

1. 令和4年度当初予算(案)

<p>①農業農村整備事業<公共></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化を図るため、農地の大区画化・汎用化、農業水利施設の適切な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、防災重点農業用ため池の防災・減災対策、農業用ダムの洪水調節機能強化や田んぼダムの取組拡大、農道、集落排水施設の整備等を推進 	<p>3,322億円 (3,317億円)</p>
<p>②農業農村整備関連事業<非公共></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の多様なニーズに応じたきめ細やかな耕作条件の改善、農業水利施設のきめ細やかな長寿命化対策や機動的な防災減災対策、情報通信環境の整備、農地の粗放的利用、加工・販売・交流施設等の整備を支援 	<p>540億円 (518億円)</p>
<p>③農山漁村地域整備交付金<公共></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付 	<p>農業農村整備分 591億円 (595億円)</p>
<p>※デジタル庁計上の政府情報システム予算</p>	<p>15億円 (15億円)</p>

2. 令和3年度補正予算

<p>①T P P等関連農業農村整備対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地の更なる大区画化・汎用化、水田の畑地化、畑地・樹園地の高機能化、畜産クラスターを後押しする草地整備等を推進 	<p>774億円</p>
<p>②米の臨時特別対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主食用米から麦・大豆、野菜等への転換を促進するため、排水改良等による水田の汎用化を推進 	<p>46億円</p>
<p>③防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 激甚化・頻発化する豪雨災害を踏まえた「流域治水」の取組、基幹的な農業水利施設の老朽化対策や豪雨・地震対策、ため池の防災・減災対策等を推進 	<p>1,012億円</p>

湯沢雄勝土地改良区が農林水産大臣賞を受賞 —相互扶助の再生で保全管理技術を伝承—

12月3日、第5回「インフラメンテナンス大賞」の授賞者が発表され、湯沢雄勝土地改良区が「メンテナンスを支える活動部門」において農林水産大臣賞を受賞しました。

インフラメンテナンス大賞とは ▶

日本国内における社会資本（インフラ）のメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰し、優良事例として広く紹介する表彰制度です。対象となるインフラは、道路・鉄道等の産業基盤等多岐にわたり、農山漁村を形成する農業用施設も含まれています。

このため、これらの施設を所管する農林水産省を含む7省が、共通の3部門（メンテナンス実施現場における工夫部門、メンテナンスを支える活動部門、技術開発部門）において優れた取り組みに対し、大臣賞・特別賞・優秀賞を決定するものです。

第5回となる今年度は、全省で247件の応募があり、そのうち11件が各大臣賞を受賞しました。

湯沢雄勝土地改良区の取り組み ▶

湯沢雄勝土地改良区管内の山田五ヶ村堰は、農業用水のみならず消雪、防火・生活用水など、様々な用途で活用されており、これまで「集落の財産」として共同利用や保全管理が行われてきましたが、近年農家が減少していく中、「集落の財産」という意識が薄れてきていました。このため、土地改良区が地域住民主体の維持管理を進めていくための「地域のコーディネーター」としての役割を担い、集落の相互扶助の再生による保全管理技術の伝承に取り組んでいます。

取り組みの普及・レベル向上のための維持管理コンテスト及び研修会の開催や、住民直営工事の実施によるコスト削減など、地域住民が主体となって地域の歴史・文化、農村景観、農業用施設等の「集落の財産」を維持、継承していくための様々な取り組みが高く評価され、農林水産大臣省受賞の運びとなりました。



地域住民による維持管理活動



話し合いにより集落の思いを一つに



各組織の代表が活動成果をプレゼン・審査

「ふるさとの田んぼと水」 子ども絵画展 2021

審査結果について



平成12年度から開始した「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展（全国水土里ネット主催）は、今年で22回目を迎え、子どもの絵画を通じ、一般国民に対する水土里ネットの啓発普及を効果的に展開するため、毎年開催している。今年度の入賞作品は、12月4日（土）～ 12月11日（土）の間「東京美術館」で展示を行った。

秋田県からは95作品の応募があり、今年度はその中から1作品が入選した。

水土里ネット秋田会長賞

「かまくらと横手城」 横手市立横手北小学校 岡本まあやさん

秋田の原風景を守り継ぐフォーラム2021 in 横手

— 守ろう貴重な資源を、繋げよう次世代へ —



秋田県と秋田県多面的機能支援協議会は、令和3年11月22日(月)、横手市のふるさと村にて「秋田の原風景を守り継ぐフォーラム」を開催しました。本フォーラムは多面的機能支払交付金及び中山間地域等直接支払交付金を実施している活動組織・協定が一堂に会し、情報交換することで、地域を見直し、新たな活動や今後の活動継続に役立てることを目的としており、本年度で3回目の開催となります。県内各地から、農用地・水路・農道等の保全活動や農村環境保全活動に取り組んでいる活動組織・協定の方々を中心に約

460名の参加があり、併せて「秋田の原風景を守り継ぐ優良表彰」が行われ、県内4活動組織、3集落協定に対して、それぞれ知事賞、協議会長賞の表彰状授与がありました。

特別講演では、全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 進藤金日子氏から「中山間地域の振興について」と題し、日本の農山村のおかれている現状、中山間地域農業の課題と打開に向けて、そして農村地域における地域運営組織の展開について講演をいただきました。

基調講演では、秋田県生活環境部自然保護課ツキノワグマ被害対策支援センター近藤麻実氏から「環境整備でケモノに負けない集落づくり」と題し、集落・農地の維持のための鳥獣対策として、クマ、ニホンジカ、イノシシなどのケモノから農地を守る方法について講演を行っていただいたほか、表彰された活動組織から、模範となる取組事例を発表していただきました。

今後、参加された皆様が本フォーラムの講演等を参考として、貴重な地域資源を守り、次世代へ繋げていくための模範となる活動を展開していただけることを期待します。(秋田県多面的機能支援協議会事務局)



連 合 会 日 誌

12月27日	令和3年度第2回秋田市農業大賞実行委員会総会	秋田市
1月13日	都道府県土地改良事業団体連合会等事務責任者会議	オンライン会議
1月14日	都道府県土地改良事業団体連合会ブロック代表事務責任者会議	オンライン会議
..... 今後の行事予定		
1月25日	令和3年度土地改良区体制強化事業統合整備推進研修会	長野県
1月28日	あきた水土里ネット女性の会 令和3年度女性セミナー	秋田市
2月1日	NN予算に関する説明会(キャラバン)・意見交換会	秋田市
2月3日	令和3年度秋田県農林水産フォーラム	秋田市
2月10日	全国水土里ネット女性の会総会・研修会	東京都
2月10日	第4回正副会長会議	本会役員室
2月18日	第6回監事会	本会第2会議室
2月18日	第4回理事会・第3回役員会	本会第1会議室

今年もよろしくお願ひいたします。

令和4年



※秋田市総社神社の特大絵馬

会 長	高 貝 久 遠	秋田県田沢疏水土地改良区理事長	理 事	菅 原 広 二	男鹿市長
副 会 長	藤 井 弘 道	秋田県南旭川水系土地改良区理事長	〃	三 浦 昭 夫	由利本荘市土地改良区理事長
〃	成 田 光 弘	北秋田市土地改良区理事長	〃	福 原 淳 嗣	大館市長
専務理事	佐 藤 暢 芳	員外 (学識経験者)	〃	松 田 知 己	美郷町長
常務理事	金 森 正 広	員外 (学識経験者)	総括監事	高 田 清 茂	山城水系土地改良区理事長
理 事	南 都 武 男	昭和土地改良区理事長	監 事	伊 藤 盛 雄	にかほ市土地改良区理事長
〃	石 山 金 由	二ツ井町土地改良区理事長	〃	安 達 英 樹	大館市二井田真中土地改良区理事長
〃	田 口 信 一	かづの土地改良区理事長		外職員一同	

開催予定

本会第64回通常総会

日時 令和4年3月18日(金) 午後1時

会場 秋田市文化会館 5階大会議室

編 集
後 記

明けましておめでとうございます。皆様にとって2021年はどのような1年でしたか。私個人としては春から水土里ネット秋田の一員となり、新たな学びや発見が多い1年となりました。同時に、人生の体感時間は年齢を重ねるごとに短く感じるようになっていっているように、あっという間に過ぎ去った1年でした。

ところで、今年の干支は「寅年」になります。動物に当てはめると「虎」になりますが、2022年は虎のように、様々なことに果敢に挑戦し、勢いのある明るい1年にしたいものです。会員や関係者の皆様におかれましても、2022年が健やかで明るい1年となりますように。今年も水土里ネット秋田をよろしくお願ひいたします。
(政策・広報班 竹内)

